※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２０

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	神龍半印本で学ぶ手本蘭亭序（教育図書） ペン字のこころ（日本書写教育研究会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写で学んだことを発展させ、芸術科書道では用具用材の違いや用筆の違いで、様々な表現ができることを学びます。
・漢字の書体五書体や日本特有の仮名について理解し、表現する中で、自分のリズムで書く楽しさを経験しましょう。
・身近な作品を作り、様々な書作品に触れることから、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広くかかわる資質・能力を育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な能力を身につけるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想したり表現を工夫したり、作品や所の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書写から書道へ	書写で学んできたこと	a: 配列の基本について考える。 b: 楷書漢字と仮名の調和について表現する。	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	
	漢字の書　楷書	古典に基づく学習 「楷書」	a:「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、起筆や送筆、結構の取り方の違いを理解する b:「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、起筆や送筆、結構の取り方の違いを表現する c:楷書臨書作品を相互鑑賞し、他者の作品の良さを理解し、自分の作品を顧みる。	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察
	篆刻	創作 落款印を刻す	a: 篆刻の用具・用材や落款印の手順について理解する。 b: 自分の落款印を刻す c:篆刻が使われる場面を理解し、活用しようとする	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書　行書	古典に基づく学習 「行書」	a:「蘭亭序」「争座位文稿」「風信帖」の概要を理解し、表現の特徴を手掛かりとして臨書する。 b:行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、表現する C:行書臨書作品を相互鑑賞し、他者の作品の良さを理解し、自分の作品を顧みる。	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察
後期	漢字仮名交じりの書	創作―言葉と書を調和させよう 生活に広げる	a:漢字と仮名の大きさや配列など、紙面の構成を工夫する。 b: 創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、身近なカレンダーを書く c:書き方の工夫によって表現に変化をつけ、自分の意図に合うかどうか考える	提出作品	ポートフォリオ 提出作品	レポート 学習態度の観察
	仮名の書	仮名の創作 百人一首を題材にする 「高野切第三種」「蓬莱切」「関戸本古今和歌集」など平安時代の古典を学ぶ	a:仮名の用具・用材の特徴について理解する b:「高野切第三種」を基に、百人一首を平安時代の仮名の特徴を生かし、表現する c:日本特有の仮名の歴史や古典を理解する	ポートフォリオ 提出作品	提出作品	レポート
		鑑賞 高校展の鑑賞	C:他者の作品を鑑賞することで、視野を広げ、書的感性を高め、自分の作品に生かそうとする。			レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度